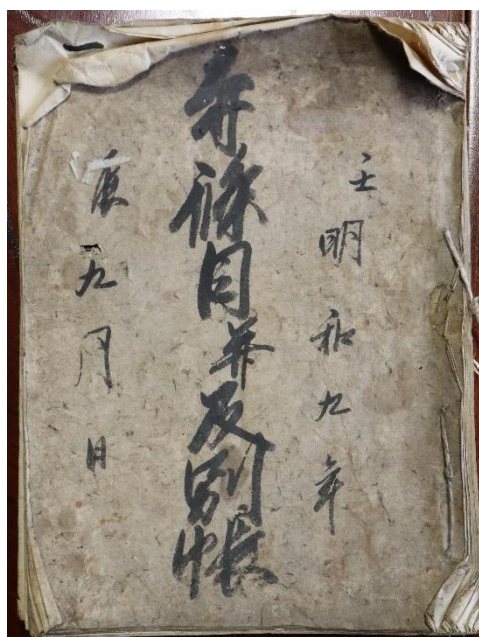


第74回茂原市文化祭展示概要のお知らせ

本納文化財顕彰会

- 1 期 日 令和7年11月1日(土)～11月3日(月)
9時～17時 (ただし、11月4日は16時まで)
- 2 会 場 本納公民館(ほのおか館)
- 3 テーマ 橘樹神社と関係寺社
—古文書に見える江戸時代の知られざる関係—
- 4 概 要 江戸時代までの神社と寺院は密接な関係があり、僧侶が神前で読経の儀式を行ったり、神社の拝殿前に鰐口を備え付けたりしていて、神仏習合といわれる状態でした。その上、神社と寺院の関係は対等ではなく、僧侶が神職を支配する構図が出来上がっていました。宝暦8年(1758)の「差上申一札之事」と題する『橘樹神社文書』は、当時の蓮福寺との争論の詳細が記されています。また、橘樹神社と川戸神社の間にも氏子をめぐる争論がみられたことが、享保9年(1724)の『矢部家文書』(茂原市北塚)に記されています。このたびは、江戸時代の橘樹神社と関係寺社の関わりについて貴重な原本史料(古文書)と関係する写真パネル等を展示します。
- 5 主な展示品
 - 「差上申一札之事」(橘樹神社と蓮福寺の争論) 【橘樹神社文書】 (原本)
 - 「寺條目并反別帳」(蓮福寺の定と寺領) 【蓮福寺文書】 (原本)
 - 「川戸神社弁財天」(妙満寺 156 世日字画軸物) 【川戸神社文書】 (原本)
 - 「乍恐以口上書御訴詔申上候」(橘樹神社と川戸神社の氏子を廻る争論) 【矢部家文書】 (原本)
 - 日什上人坐像(蓮福寺所蔵) (写真パネル) など50点余

蓮福寺文書



日什上人坐像(蓮福寺)



橘樹神社文書

